取扱説明書

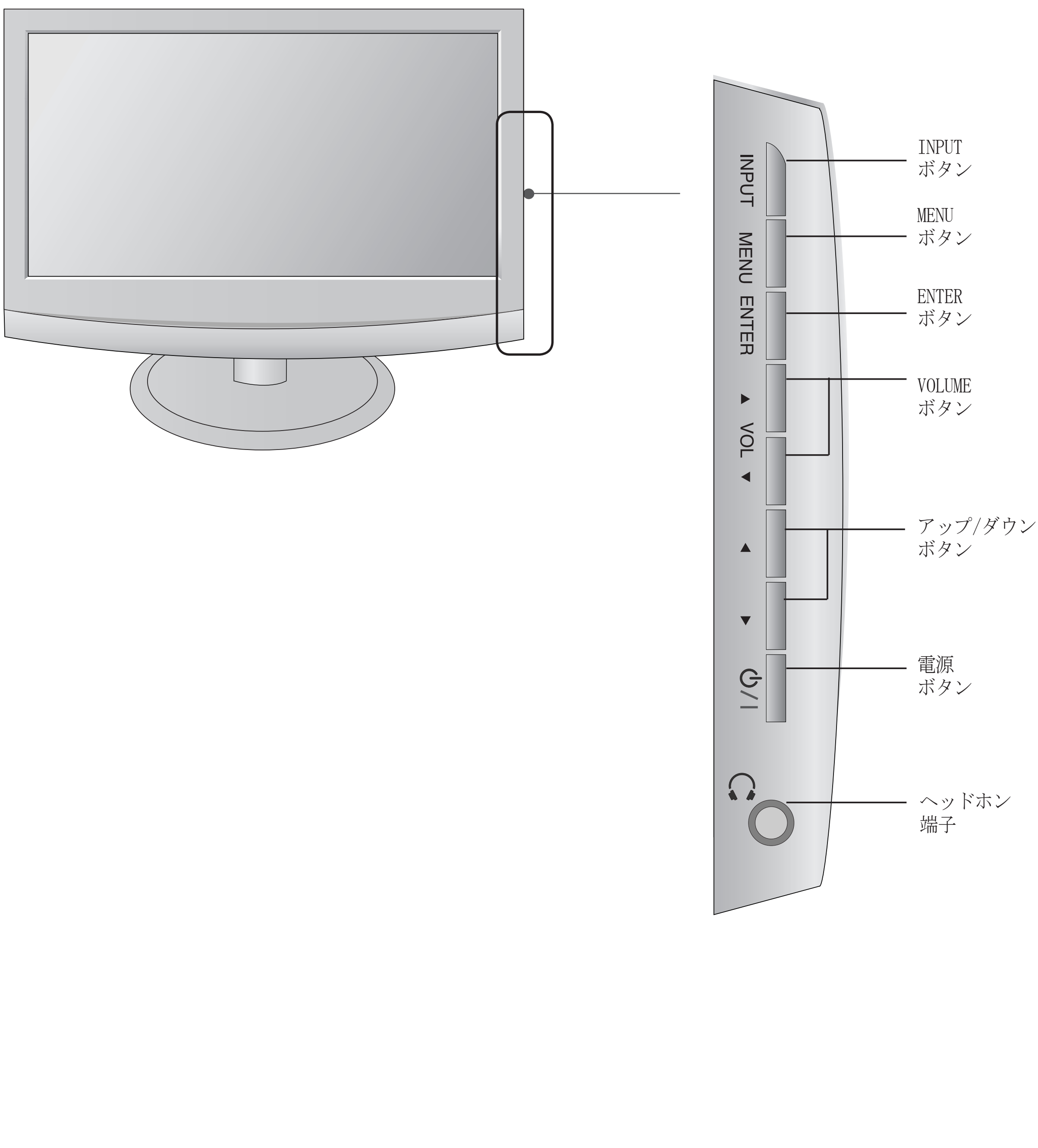
M2794S

本製品をご利用の前に「安全上のご注意」をお読みください。
ユーザーガイド（CD）は、後から参照できるように、必要な時にすぐに取り出せて閲覧できる場所に保管してください。
サービスを依頼する際は、本製品に貼ってあるラベルをご覧になり、お買い求めになった販売店にラベルの詳細をお伝えください。

準備

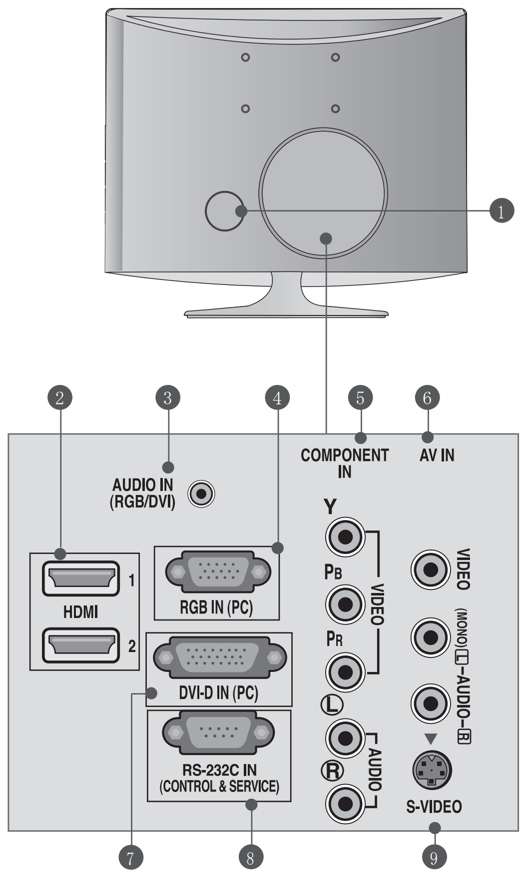
前面パネルの操作

■ 下図は、前面パネルのイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。



背面パネルの詳細

■ 下図は、背面パネルのイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。



❶電源コードソケット
本機は、AC 電源で動作します。動作電圧については、仕様のページに記載されています。
本機を DC 電源で使用しないでください。

❷HDMI 入力
HDMI 信号を HDMI IN 端子に接続します。または、DVI-HDMI変換ケーブルを使用して、DVI（ビデオ）信号を HDMI IN 端子に接続します。

❸RGB/DVI オーディオ入力
PC からの音声を接続します。

❹RGB 入力（PC）
PC からの出力を接続します。

❺ コンポーネント入力
コンポーネントビデオ / オーディオ機器をこれらの端子に接続します。

❻ AV（オーディオ / ビデオ）入力
外部機器からのオーディオ / ビデオ出力をこれらの端子に接続します。

❼ DVI-D 入力（PC）
PC からの出力を接続します。

❽ RS-232C IN （コントロール & サービス）
PC の RS-232C ポートに接続します。

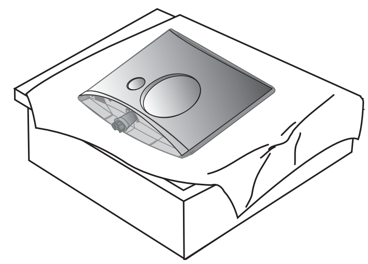
❾ S 映像入力
S-VIDEO 端子搭載の機器から S 映像出力を接続します。

準備

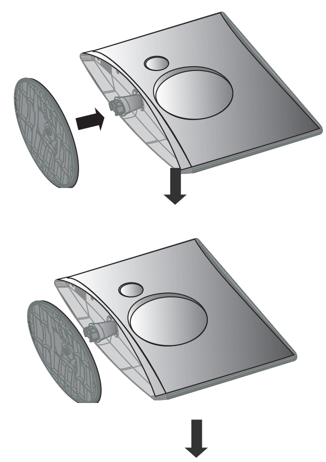
スタンドの取付け

■ 実際の製品とは異なる場合があります。

1 本機とスクリーンを傷つけないように注意しながら、クッション性のあるものの上にスクリーン面を下に向けて置きます。

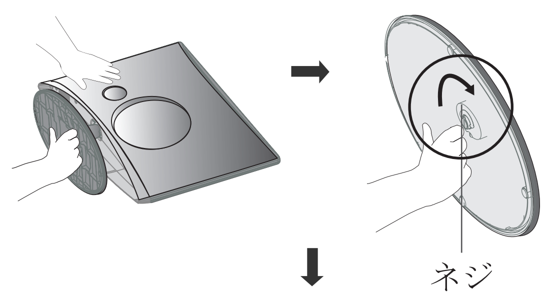


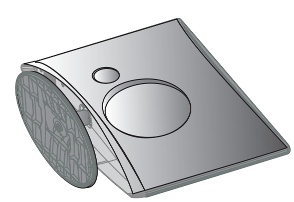
2 スタンドベースを本機に挿入します。



3 ネジを右に回してモニターをスタンドベースに取り付けます。

＊ ハンドルネジを使ってネジを回します

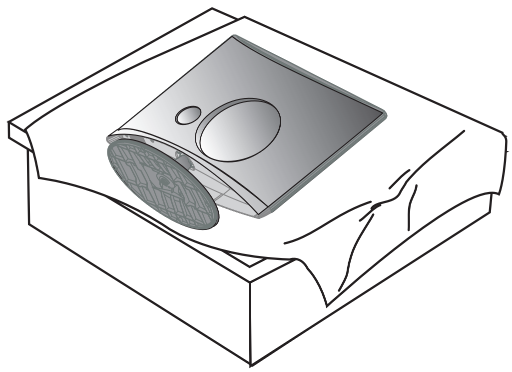




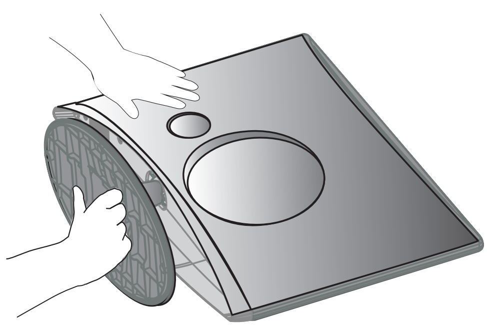
スタンドの取外し

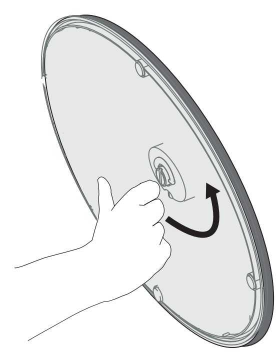
■ 実際の製品とは異なる場合があります。

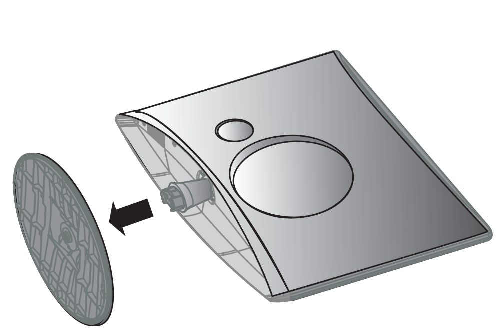
1 本機とスクリーンを傷つけないように注意しながら、クッション性のあるものの上にスクリーン面を下に向けて置きます



2 ネジを左に回してモニターをスタンドベースから取り外します。
※ハンドルネジを使ってネジを回します。



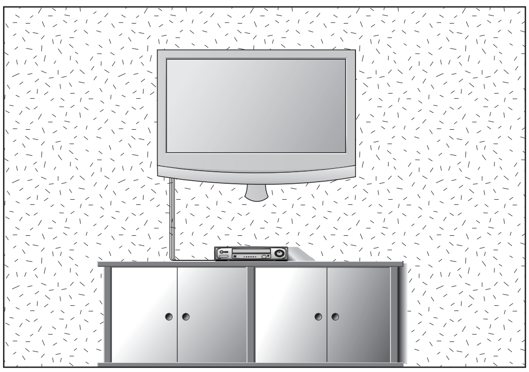


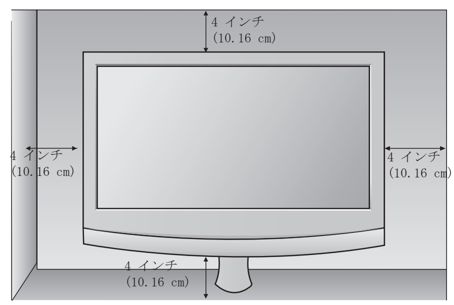


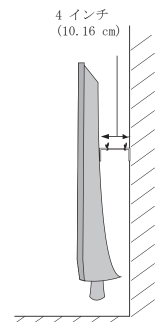
準備

壁掛け

十分な換気を行なうために、各側面を壁から 4 インチ（10.16 cm）離して設置してください。 設置方法については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。また、別売りの「チルト壁掛け金具設置と設定ガイド」も参照してください。

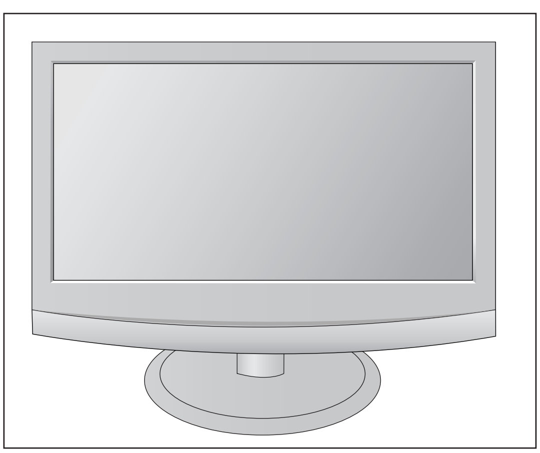


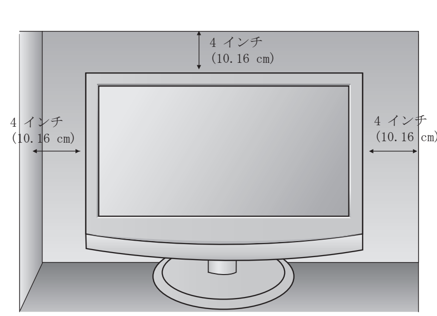


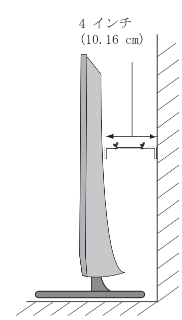


スタンドを使用した設置

十分な換気を行なうために、各側面を壁から 4 インチ（10.16 cm）離して設置してください。



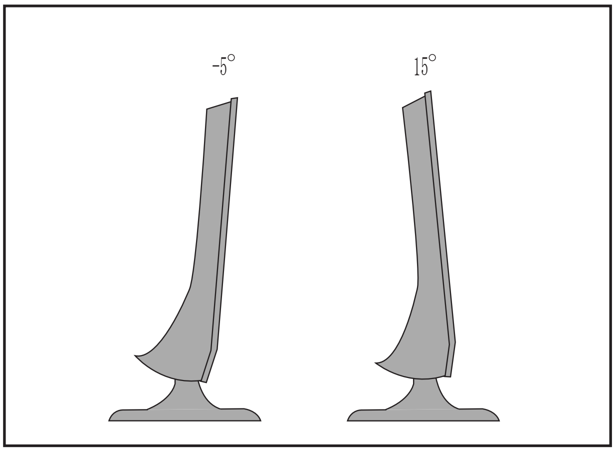




画面の位置調整

■ 実際の製品とは異なる場合があります。
いろいろな方法でパネルの位置を調整し、一番見やすいポジションに設定してください。

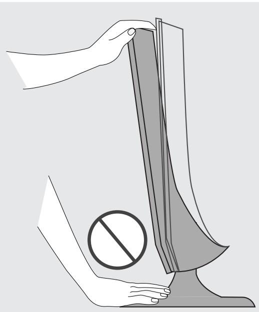
・ チルトの角度範囲



設置場所

明るい光や日光が直接画面に当たらない場所に本機を設置してください。　振動、湿気、ホコリ、熱を避けるように注意してください。また、本機は通気性の良い場所に設置してください。背面カバーの通気口をふさがないでください。
本機を壁に掛ける場合は、壁掛け用マウントインターフェース（別売りパーツ）を本機の背面に取り付けてください。
壁掛け用のマウントインターフェース（別売りパーツ）を使って本機を設置する場合は、本機が落ちないように十分に注意して取り付けてください。
- VESA規格に準拠するネジと壁掛け用マウントを必ず使用してください。
- 推奨する長さより長いネジを使用すると、本機が破損する恐れがあります。
- VESA　規格に準拠しないネジを使用すると、本機を破損させるか、壁との距離が離れてしまう原因になります。弊社は、このような指示に従わずに発生した破損について、一切責任を負いません。

<ネジマウントインターフェースの寸法>
穴間隔 100mm X 100mm



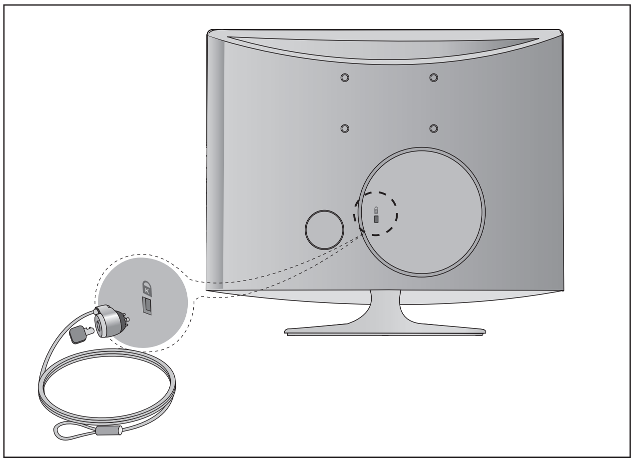
警告 ：
スクリーンの角度を調整する際は、モニター頭部とスタンド本体との間に指を入れないでください。指に怪我をする恐れがあります。

ケンジントン社セキュリティーシステム

- 本製品は、背面パネルにケンジントン社セキュリティーシステムのコネクタを装備しています。
  下図のようにケンジントン社セキュリティーシステムのケーブルを接続してください。
- ケンジントン社セキュリティーシステムの設置と使用方法については、ケンジントン社セキュリティーシステムの取扱説明書を参照してください。
  詳細については、ケンジントン社のホームページ HTTP://WWW.KENSINGTON.COM にアクセスしてください。ケンジントン社は、ノートパソコンや LCD プロジェクターなどの高額な電子機器を対象としたセキュリティーシステムを販売しています。

注記
- ケンジントン社セキュリティーシステムは別売りです。

注記
A. 本機が冷えているときに電源を入れると、小さな「フリッカ」が起こることがあります。
   これは通常起こることで、製品に何の問題もありません。
B. 小さな赤、緑、青色のまだらな点が表示され、画面に微細なドットの欠陥が見られる場合がありますが モニターの性能に悪影響はありません。
C. LCD スクリーンに触ったり、長い間指で押さえたりしないでください。
   画面に一時的な歪みを起こす原因になります。



外部機器の設定

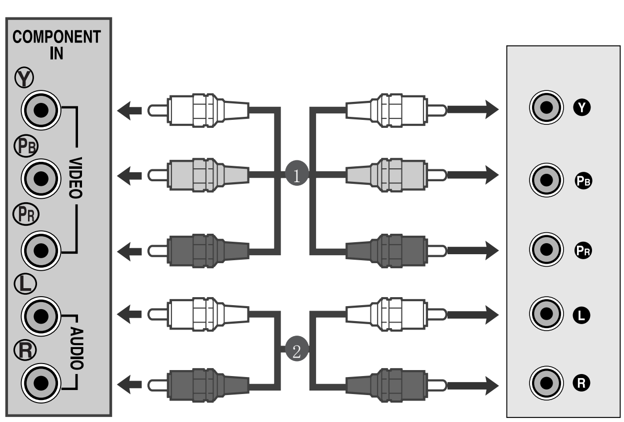
- 外部機器の損傷を避けるため、すべての機器との接続を終了するまで、電源コードをコンセントに差し込まないでください。
- 実際の製品とは異なる場合があります。

HD 受信機の設定

コンポーネントケーブルで接続する場合

1. セットトップボックスからの出力を、本機の COMPONENT IN VIDEO 端子（Y PB PR）に接続します。
2. セットトップボックスからのオーディオケーブルを、本機の COMPONENT IN AUDIO 端子に接続します。
3. INPUT ボタンを押してコンポーネントを選択します。

信号	COMPONENT
480I/576I	対応
480P/576P	対応
720P/1080I	対応
1080P	対応

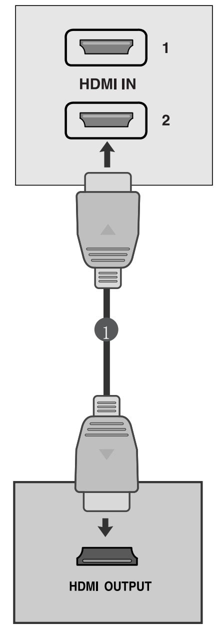


外部機器の設定

HDMI で接続する場合

1. デジタル セットトップ ボックスのHDMI 出力を本機の HDMI IN 端子に接続します。

2. INPUT ボタンを押してHDMI1 または HDMI2 を選択します。



信号	HDMI
480I/576I	非対応
480P/576P	対応
720P/1080I	対応
1080P	対応

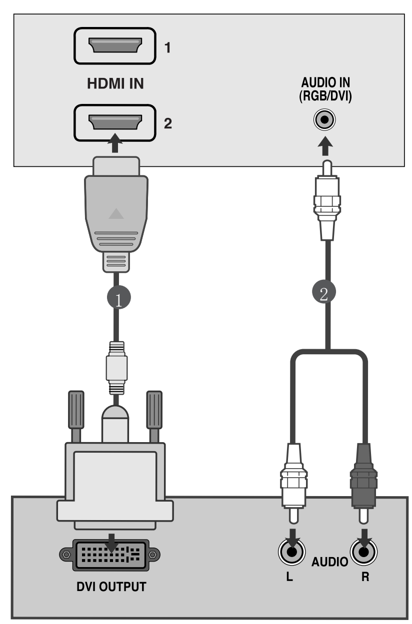
HDMI-DVI 変換ケーブルで接続する場合

1. デジタル セットトップ ボックスを本機の HDMI IN 端子に接続します。

2. デジタル セットトップ ボックスの音声出力を本機の AUDIO IN (RGB/DVI) 端子に接続します。

3. デジタル セットトップ ボックスの電源を入れます (デジタル セットトップ ボックスの取扱説明書を参照してください)。

4. INPUT ボタンを押してHDMI1 または HDMI2 を選択します。



注記

- HDMI 入力は PC モードには対応していません。 HDMI が PC に接続されていると、画面が正しく表示されない場合があります。
- HDMI は、PCM オーディオフォーマットのみに対応しています。

DVD の設定

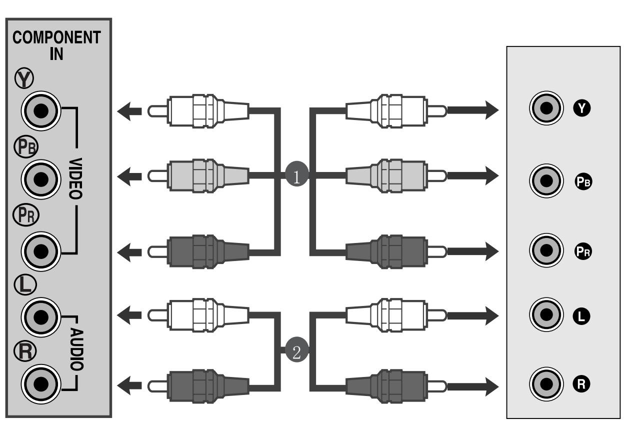
コンポーネントケーブルで接続する場合

1. DVD の映像出力端子（Y PB PR）を、本機の COMPONENT IN VIDEO 端子（Y PB PR）に接続します。
2. DVD からのオーディオケーブルを、本機の COMPONENT IN AUDIO 端子に接続します。
3. INPUT ボタンを押してコンポーネントを選択します。
4. DVD の再生ボタンを押します。
DVD の再生画像が画面に表示されます。

コンポーネント入力端子
映像をより高画質でご覧になるには、DVD プレーヤーを下図のようにコンポーネント入力端子に接続してください。

本機コンポーネント端子	Y	P_B	P_R

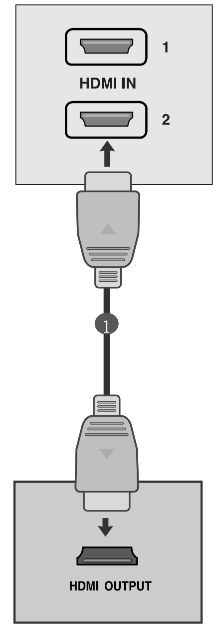
DVD プレーヤー映像出力端子	Y Y Y Y	P_B B-Y Cb Pb	P_R R-Y Cr Pr



HDMI ケーブルを接続する場合

1. DVD プレーヤーのHDMI 出力を本機の HDMI IN 端子に接続します。

2. INPUT ボタンを押してHDMI1 または HDMI2 を選択します。



注記

- HDMI ケーブルを使用すると、映像信号と音声信号を同時に接続することができます。
- DVD プレーヤーがオート HDMI に対応しない場合は、DVD の出力解像度をマニュアルで正しく設定してください。
- HDMI は、PCM オーディオフォーマットのみに対応しています。

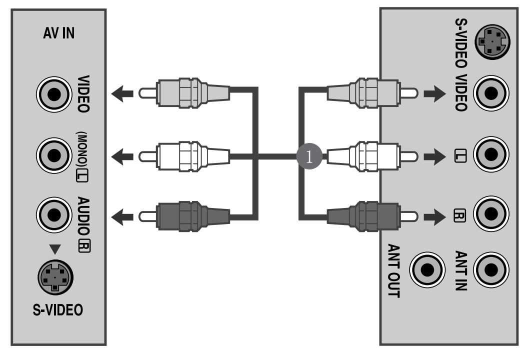
外部機器の設定

ビデオの設定

■ 画像ノイズ（画像障害）を避けるために、本機とビデオとは十分な距離を置いてください。
■ 通常、静止画像はビデオで表示されます。 4:3 の画像フォーマットを長時間使用すると、残像が画面脇に残る可能性があります。

RCA ケーブルで接続する場合

1. ビデオの音声 / 映像出力端子と、本機の AUDIO/VIDEO IN 端子を接続します。
2. INPUT ボタンを押して AV を選択します。
3. ビデオの再生ボタンを押します。ビデオの再生画像が画面に表示されます。

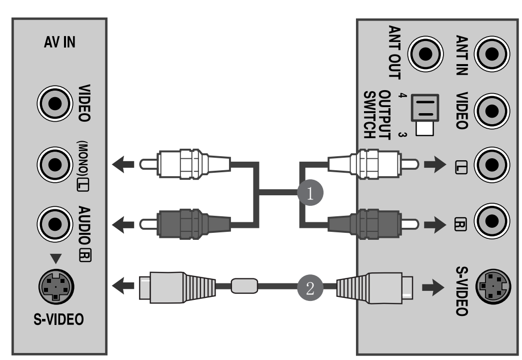


注記

■ モノラルのビデオを使用する場合は、オーディオケーブルで本機の AUDIO L/MONO 端子に接続します。

S 映像ケーブルで接続する場合

1. VCR の S 映像端子と、本機の S-VIDEO 端子を接続します。
2. オーディオケーブルをビデオの S-VIDEO から本機の AUDIO 端子に接続します。
3. INPUT ボタンを押して AV を選択します。
4. ビデオの再生ボタンを押します。ビデオの再生画像が画面に表示されます。



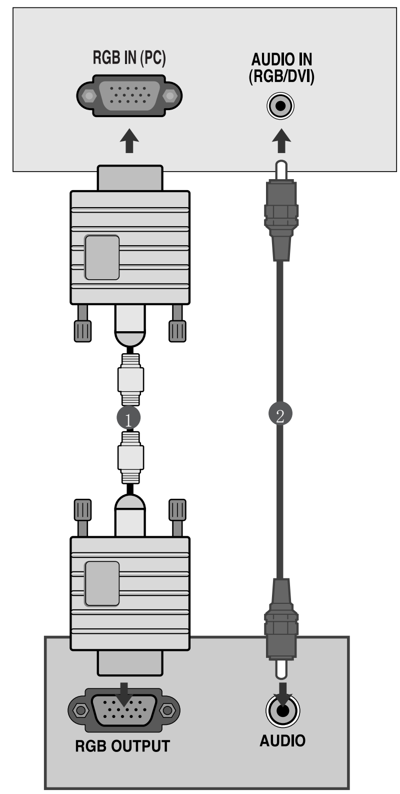
外部機器の設定

PC の設定

本製品はプラグ アンド プレイ機能を搭載しており、PC で自動的に本機設定を行うことができます。

D-SUB 15 ピンケーブルで接続する場合

1. 信号ケーブルを PC の RGB 出力端子から本機の RGB IN(PC) 端子に接続します。
2. オーディオケーブルを PC から本機の AUDIO IN (RGB/DVI) 端子に接続します。
3. INPUT ボタンを押して RGB PC を選択します。
4. PC の電源を入れて、本機に PC 画面を表示します。本機を PC モニターとして使用することができます。



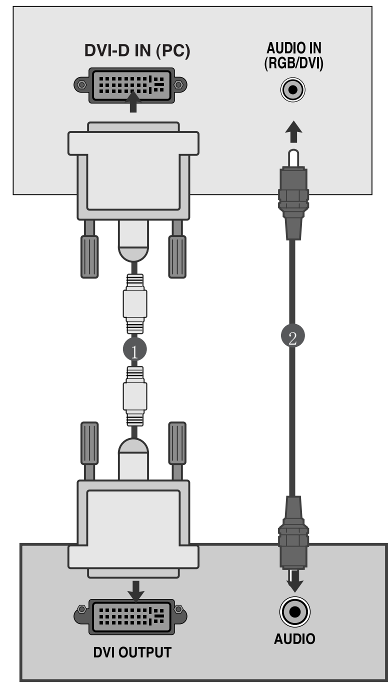
注記

- 本製品の標準性能を準拠するために、フェライトコア付きシールドインターフェースの信号用ケーブル（D-SUB 15 ピンケーブル、DVI ケーブル）を使用してください。

DVI ケーブルで接続する場合

1 PC の DVI 出力を本機の DVI-D IN 端子に接続します。

2 オーディオケーブルを PC から本機の AUDIO IN (RGB/DVI) 端子に接続します。

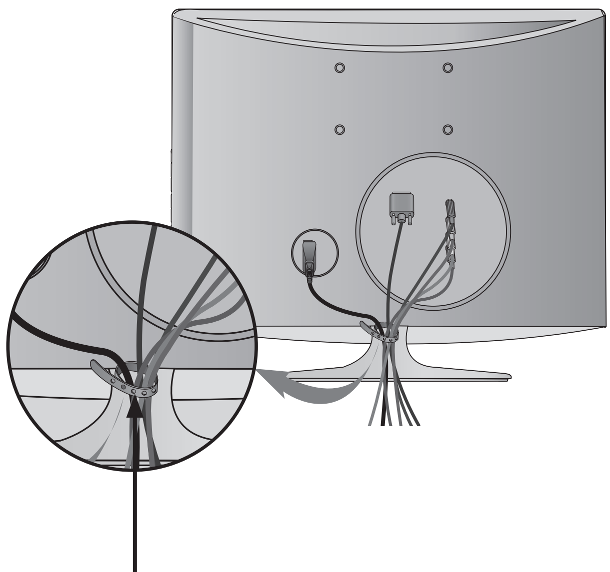


注記

- 本機が冷たい場合は、電源を入れる際に小さな「フリッカ」が起きる場合があります。これは通常起こることで、本機に何の問題もありません。
- LCD モニターで最高画質の映像をご覧になるには、ビデオモードを 1920X1080@60HZ に設定してください。他の解像度を設定した場合は、画面にある程度の調整、または処理された画像を表示する可能性があります。本機は、 1920X1080@60HZ にあらかじめ設定されています。
- 赤、緑、青色のまだらな点のようなドットの欠陥が画面に見られる場合がありますが、モニターの性能に何の影響もありません。
- 画面に一時的な歪みを起こす原因になりますので、LCD スクリーンを長い間指で押さえないでください。
- 本機の画面に静止画像を長時間表示しないでください。静止画像の焼き付きが永久的に画面に残る可能性がありますので、出来る限りスクリーンセーバーを使用してください。

背面カバーでのワイヤーの配線

図のようにケーブルをケーブルタイで束ねてください。



ケーブルタイ

外部機器の設定

RGB/DVI[PC]

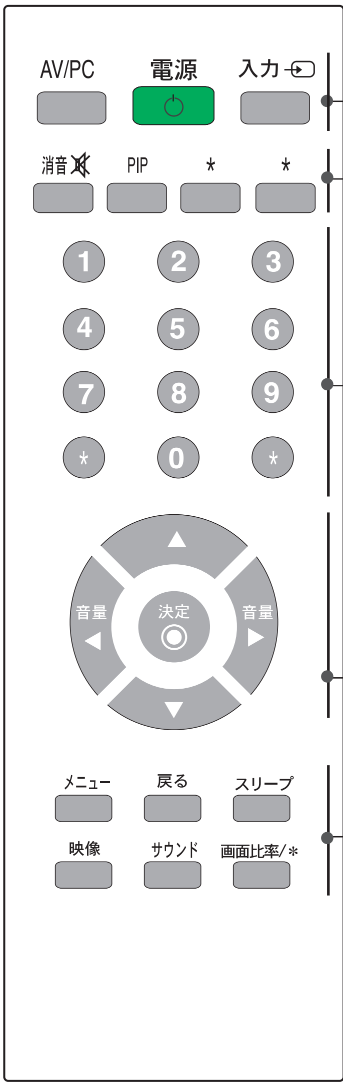
解像度	水平周波数 (KHZ)	垂直周波数 (HZ)
720X400	31.468	70
640X480	31.469 37.500	60 75
800X600	37.879 46.875	60 75
1024X768	48.363 60.123	60 75
1152X864	67.500	75
1280X1024	63.981 79.976	60 75
1680X1050	64.674 65.290	60 60
1920X1080	66.587	60

HDMI[DTV] 対応モード

解像度	水平周波数 (KHZ)	垂直周波数 (HZ)
720X480/60P	31.47 31.5	60 60
720X576/50P	31.25	50
1280X720/50P	37.5	50
1280X720/60P	44.96 45	60 60
1920X1080/60I	33.72 33.75	60 60
1920X1080/50I	28.125	50
1920X1080/24P	27	24
1920X1080/30P	33.75	30
1920X1080/50P	56.25	50
1920X1080	67.43 67.5	60 60

リモコンの主な機能

リモコンを使用する際は、リモコンを本機のリモコン受光部に向けてください。



AV/PC	AV または PC モードを選択します。 （本機の電源を入れます）
電源	本機の電源をオン/オフします。
入力	外部入力モードが一定のシーケンスで回転します。 （本機の電源を入れます）

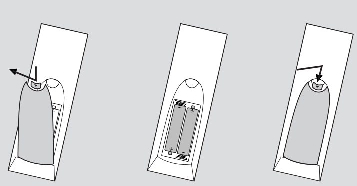
消音	音声をオン/オフします。
PIP	副画面　PIP、DW　モードの切り替えをします。(20 ページ参照)
*	機能しない

0~9 番号ボタン	機能しない
*	機能しない

音量	ボリュームを調整します。
アップ/ダウン	OSD　画面のアイコンを選択したり、設定を調整したりします。
決定	選択の決定、または現在のモードを表示します。 決定ボタンを　2　度押して自動設定します。(RGB-PC 入力のみ)

メニュー	メニューを選択します。(19 ページ参照)
戻る	1 段階前の画面に戻ることができます。 （操作項目により異なります）
スリープ	おやすみ予約機能を選択します。(35 ページ参照)
映像	視聴環境に応じて、工場出荷時設定の画像の切り換えをします。
サウンド	プリセット音声設定の切り換えをします。
画面比率/*	希望する画像フォーマットを選択します。(21　ページ参照)

リモコンの乾電池の入れ方



1. 電池キャップを外します。
2. 電池を両極性（+/-）正しい方向に挿入します。
3. 電池キャップを閉じます。
   ・ 使用済みの乾電池は、環境保護のために再利用としてゴミ分別してください。

電源を入れる

本機の電源を入れると、本製品のあらゆる機能を利用できます。

1 電源を入れるには、本機の ⏻/I 、INPUT、▲ / ▼ ボタン、またはリモコンの POWER、INPUT、▲ / ▼ ボタンのいずれかを押します。

初期化を行うにあたって

本機の電源を入れた後に、画面に OSD（オンスクリーンディスプレイ）が表示された場合は、言語、場所を調整することができます。

注記:
A.ボタンを何も押さない場合は、約 40 秒後に自動的に消えます。
B.「イン・ストア」モードは、店内展示時にのみ使用されるもので、一般のお客様用ではありません。
C.「ホーム」モードは、ご家庭で使用する環境に適した設定で、本機の初期設定モードです。
D.「イン・ストア」モードは販売店内の環境に適した設定です。ユーザーが画質データを変更した場合は、一定期間後に「イン・ストア」モードで本機を出荷時設定の画質に初期化します。
E.オプションメニューの初期設定へのリセットを実行して、モード（ホーム、イン・ストア）を変更することができます。

音量調整

1 VOL ◀ / ▶ ボタンを押して音量を調整します。

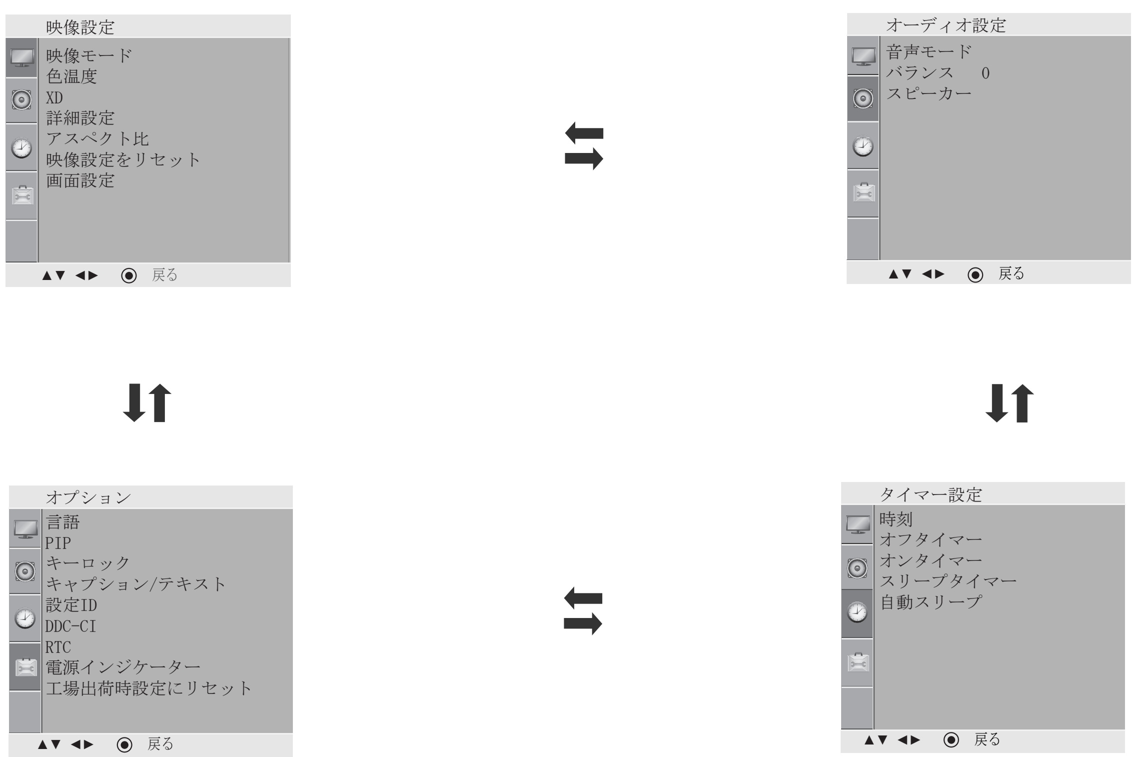
2 音声を消したい場合は、MUTE ボタンを押します。

3 MUTE または VOL ◀ / ▶ を押してミュート機能を取り消すことができます。

オンスクリーンメニューの選択

お買い求めになられた機器によっては、OSD（オンスクリーンディスプレイ）が取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して各メニューを表示します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してメニュー項目を選択します。
3. ◀/▶ ボタンを押して、サブメニューまたはプルダウンメニューで項目の設定を変更します。
決定を押して上層レベルのメニューに移動することができます。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

注記

- OSD（オンスクリーンディスプレイ）機能では、グラフィック表示もできるため、画面ステータスを自由に調整することができます。

画像操作

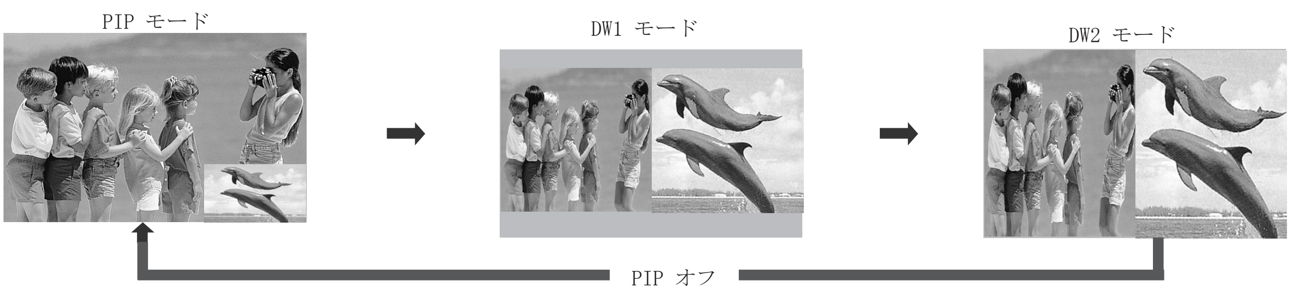
PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）を見る

PIP 機能で、画面に 2 つの入力（ソース）を同時に視聴することができます。
1 つのソースを大きく、そして別のソースを小さな画面で重ねて表示します。
PIP 機能は、RGB-PC と DVI 入力のみで利用できます。(AV モードに対応します)



PIP / ダブルウィンドウを見る

PIP ボタンを押す度に、PIP -> DW1 -> DW2 -> PIP オフ へと変更します。



副画面の入力ソース選択

PIP メニューを入力してから ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して、副画面の PIP 入力ソースを選択します。
(副画面は AV のみで選択できます)

副画面の音声ソース選択

PIP メニューを入力してから ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して、副画面の PIP 音声ソースを選択します。

副画面サイズ調整（PIP モードのみ）

PIP メニューを入力してから ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して、副画面のサイズを調整します。

副画面の移動（PIP モードのみ）

PIP メニューを入力してから ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して、副画面の位置を調整します。

注記

- キャプション機能は PIP モードでは作動しません。
- PIP モードでは、リモコンのナンバー[NUMBER] キーは利用できません。
- ARC 機能は、DW1 と DW2 モードでは作動しません。

画像サイズ（アスペクト比）操作

16:9、4:3、ズーム 1/2、ジャストスキャンのように、いろいろな画像フォーマットで画面を楽しむことができます。

ジャストスキャンは、次のモードで作動します：コンポーネント(720P/1080I/1080P)、HDMI(720P/1080I/1080P)

静止画像を長時間画面に表示すると、静止画像が画面に焼き付いて残るおそれがあります。

▲/▼ ボタンで拡大比を調整することができます。

この機能は次の信号で作動します。

1 画像メニューでアスペクト比を調整することができます。

・ 16:9
この比率を選択することで、画面全体に合わせるために画像を水平方向、左右に引き伸ばします（4:3 フォーマットの DVD を視聴する際に利用します。）



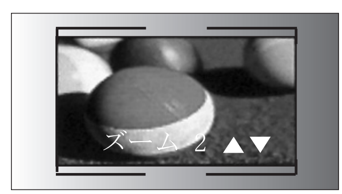
・ 4:3
この比率を選択することで、本来の 4:3 のアスペクト比で画像をご覧になることができますが、画面の左右両側に黒帯が表示されます。



・ ズーム 1
ズーム 1 を選択すると、画面全体に合わせる際に何の補正も行わずに画面をご覧になることができますが、画像の上下が切り落とされます。



・ ズーム 2
画像を水平方向（左右）に引き伸ばし、垂直方向（上下）に切り落とすように補正する場合に、 ズーム 2 を選択します。画像を補正したり画面の範囲を調整したりしながら表示します。



・ ジャストスキャン
ジャストスキャンを選択すると、本来の画像を失うことなく、高解像度映像で最良の画質をご覧になることができます。



注記

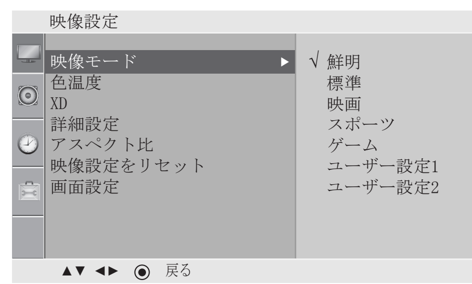
- コンポーネント、HDMI、RBG(PC) モードで 4:3 と 16:9（ワイド）のみ選択できます
- HDMI / コンポーネント (720P 以上) モードでは、ジャストスキャンを選択できます。

画像設定のリセット
画像モード・プリセット

最高画質をお楽しみいただくために画像モードで本機を調整します。画像モードメニューでプリセット値を選択します。
鮮明、標準、映画、スポーツ、ゲームの項目は、最適な画像を再現するために出荷時点で設定されているため、変更できません。

PICTURE ボタンを繰り返し押して、画像表示の設定を選択してください。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ► ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像モードを選択します。
3. ► ボタンを押してから ▲/▼ ボタンを押して、鮮明、標準、映画、スポーツ、ゲーム、ユーザー 1、ユーザー 2 のいずれかを選択します。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

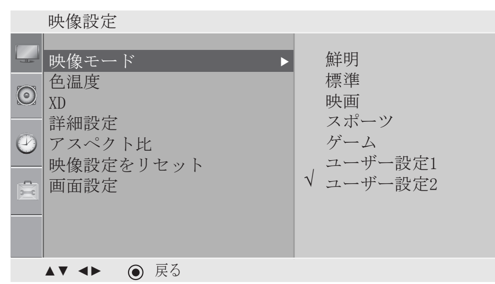
画像操作

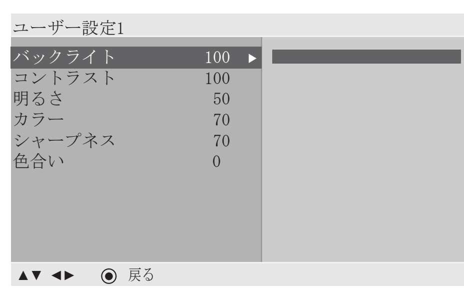
画像の手動調整

画像モード - ユーザーモード

バックライト	LCD パネルの明るさを調整して、画面の明るさを制御します。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分のレベル調整をします。
明るさ	画像の白色の値を増減します。
カラー	全色の強度を調整します。
シャープネス	画像の明るい部分と暗い部分のエッジ（ふち）をハッキリとさせるレベルを調整します。レベルが低いほど柔らかいイメージになります。
色合い	赤色と緑色レベルのバランスを調整します。

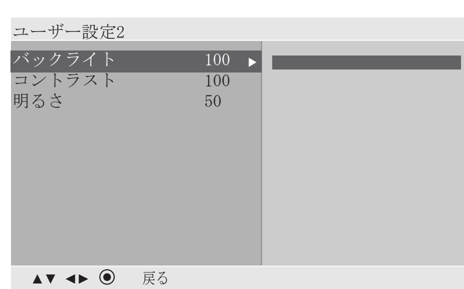
1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像モードを選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してユーザー 1 またはユーザー 2 を選択します。
4. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して希望する画像項目を選択します。
   - AV / コンポーネント / HDMI :バックライト、コントラスト、明るさ、カラー、シャープネス、色合い
   - RGB-PC / DVI-PC :バックライト、コントラスト、明るさ
5. ◀/▶ ボタンを押して、適切に調整を行います。





<AV / コンポーネント / HDMI>





<RGB-PC/DVI-PC>

- MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。
- 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

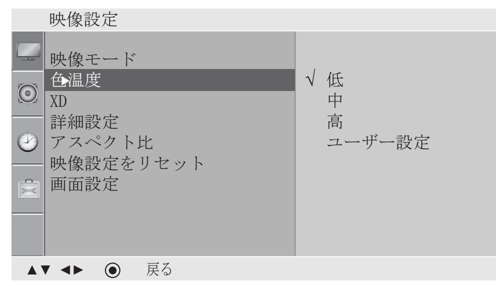
自動色調コントロール（色温度）

色調を初期化（初期設定にリセット）するには、低の項目を選択します。

3 レベルの自動色調コントロールから 1 つを選んでください。赤色などの温かい色を高めるには高を、青色系などの落ち着いた色でご覧になるには低を設定してください。

このメニューは、画像モードの「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択後に実行されます。

1. メニュー ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して色温度を選択します。
3. ▶ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して低、中、高、ユーザーのいずれかを選択します。



自動色調コントロール （9300K/6500K/SRGB） (RGB-PC と DVI-PC モードのみ)

色調を初期化（初期設定にリセット）するには、6500Kの項目を選択します。

このメニューは、画像モードの「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択後に実行されます。

1. ▶ボタンを押してから、▲/▼ボタンを押して 9300K、6500K、SRGB、ユーザーのいずれかを選択します。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

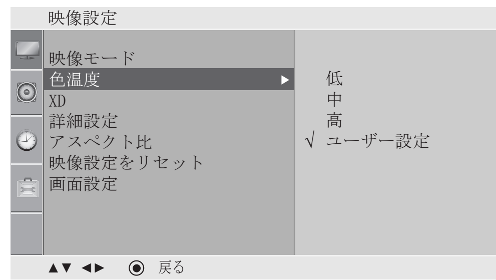
・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

色調 – ユーザーモード

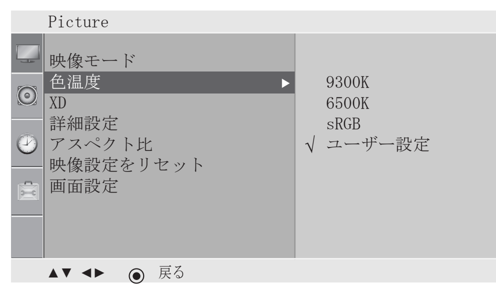
赤、緑、青色をお好みの色温度に調整します。

このメニューは、画像モードの「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択後に実行されます。

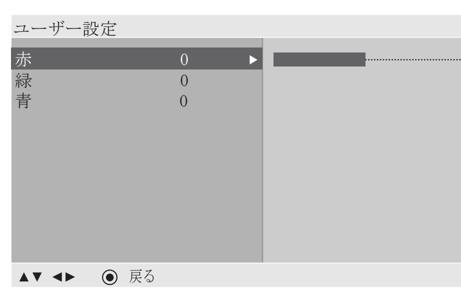
1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して色温度を選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してユーザーを選択します。
4. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して赤、緑、または青色を選択します。
5. ◀/▶ ボタンを押して、適切に調整を行います。



<AV / コンポーネント / HDMI>



<RGB-PC/DVI-PC>





・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

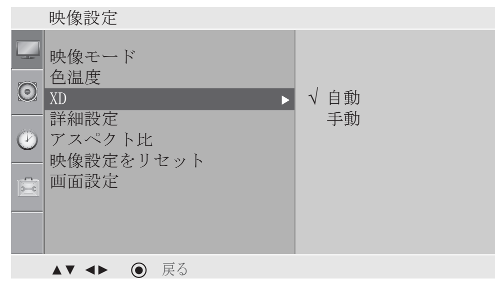
・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

XD - 高画質画像表示技術

XD は、LG エレクトロニクスの独自の高画質画像処理技術で、先進的なデジタル信号処理アルゴリズムによりフル HD ソースを表示します。

RGB-PC/DVI 入力では本機能を使用できません。
このメニューは、画像モードの「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択後に実行されます。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して XD を選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオートまたはマニュアルを選択します。



＊ マニュアルの選択

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して XD コントラスト、XD カラー、XD NR のいずれかを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオフ、低、高のいずれかを選択します。オフ、低、高、自動(XD NR のみ) のいずれかを選択します。



■ XD コントラスト :映像の明るさに応じて最適なコントラストに自動調整します。
■ XD カラー :映像の色を自動調整して、より自然に近い色を再現します。
■ XD NR :本来の画像を損なわない程度まで、画像障害（ノイズ）を取り除きます。

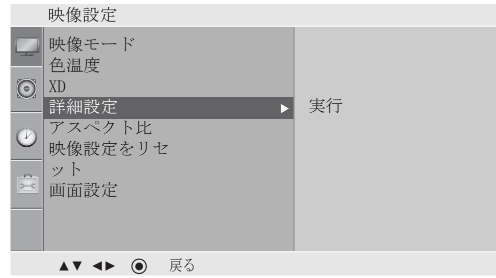
・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

画像操作

詳細設定 - ガンマ

高いガンマ値で白系の映像を、低いガンマ値で高コントラスト映像を映し出します。
RGB-PC/DVI-PC 入力では本機能を使用できません。



1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してアドバンスを選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してガンマを選択します。
4. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して低、中、高のいずれかを選択します。



詳細設定 - 映画モード

最高画質で映画鑑賞をお楽しみいただくための設定です。
この機能は、AV とコンポーネント 480I/576I モードでのみ作動します。



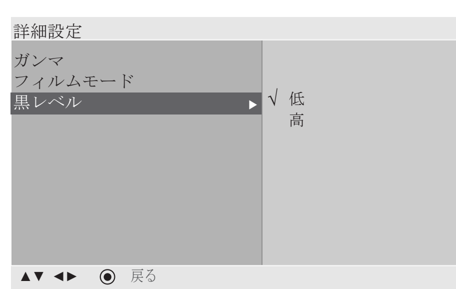
1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して映画モードを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン / オフを選択します。

詳細設定 - 黒（暗さ）レベル

映画をご覧になる際に、この機能で最高画質に調整します。 画面のコントラストや明るさを、画面の黒レベルで調整します。RGB-PC/DVI-PC 入力では本機能を使用できません。

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して黒レベルを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して低 / 高 を選択します。

■ 低 :画面の映像が暗くなります。
■ 高 :画面の映像が明るくなります。



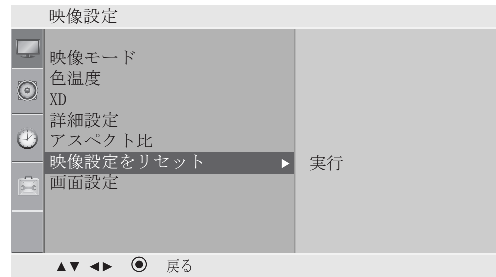
・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

画像リセット

映像モード、色温度、XD、詳細設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. MENU（メニュー） ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像リセットを選択します。
3. ▶ ボタンを押して調整した値を初期化します。



・ MENU（メニュー） ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

画像操作

PC モードの画面設定

自動設定（RGB［PC］モードのみ）

自動的に画像位置を調整し、不安定な映像を最小限に抑えます。調整後に映像がまだ正しく映し出されない場合は、本機は正しく動作していますがさらに調整を行う必要があります。

自動設定

画面位置、クロック、フェーズを自動的に調整する機能です。自動設定が行われている間の数秒間は、映像は不安定に映し出されます。

1. OSD を使う

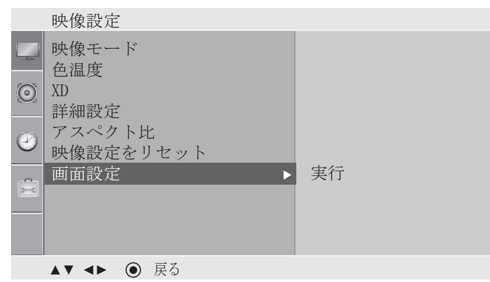
1 MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。

2 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画面を選択します。

3 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンで自動設定を選択します。

4 ▶ ボタンを押して自動設定を開始します。

- 自動設定が終了すると、OK が画面に表示されます。
- 映像がまだ正しい位置でない場合は、もう一度自動調整を行ってください。
- RGB(PC) での自動調整後に画像を再度調整する必要がある場合は、手動で設定することもできます。





2. ENTER(決定)を使う(リモコンまたはコントロールキー)

この機能は RGB 信号のみに利用できます。

1 ENTER(決定)ボタンを押します。

自動調整. (◉)

・自動設定を行わない場合は、◉ ENTER(決定)を押さないでください。

2 ENTER(決定)ボタンを押します。

自動調整中

<1920 x 1080 解像度>

表示を最適化するには解像度を1920×1080 に変更してください

<その他の解像度>

- MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。
- 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

手動設定（画面のフェーズ、クロック、位置）（RGB［PC］モードのみ）

自動調整後に画像が鮮明でない場合、特に文字がまだ揺れている場合は、画像のフェーズ調整を手動で行ってください。

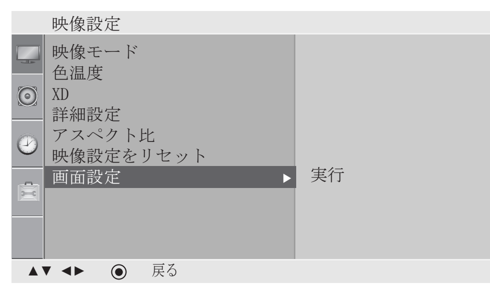
クロックを調整して画面サイズを正しく設定します。

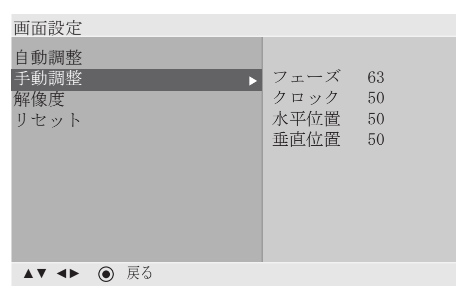
コンポーネント（480I/480P/576I/576P/720P/1080I/1080P）、HDMI（480P/576P/720P/1080I/1080P）では、フェーズ、クロック機能を利用できません。

クロック　　この機能で画面背景に見える縦方向の帯やしま模様を最小限に抑え、左右横幅の画面サイズも調整します。

フェーズ　　水平方向のノイズを取り除き、文字の輪郭を鮮明に、またはシャープにする機能です。

1. MENU（メニュー）ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画面を選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでマニュアル調整を選択します。
4. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでフェーズ、クロック、水平位置、垂直位置 のいずれかを選択します。
5. ◀/▶ ボタンを押して、適切に調整を行います。





・ MENU（メニュー）ボタンを押してメニュー画面を終了します。

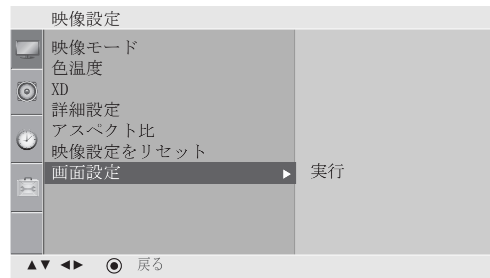
・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

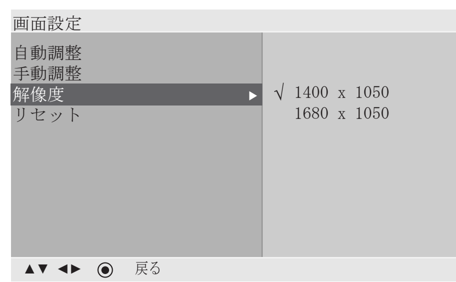
解像度の選択

正常な画像をご覧になるために、RGB モードの解像度と解像度の選択を適合させます。

この機能は、RGB-PC 入力モードで作動します。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画像メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して画面を選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンで解像度を選択します。
4. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンで希望する解像度を選択します。

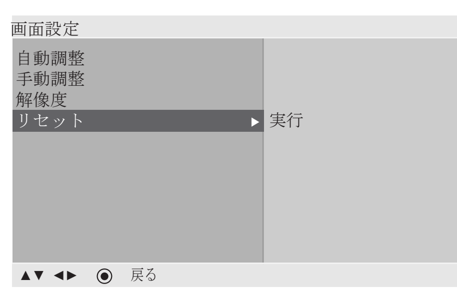




初期化（工場出荷時の設定にリセット）

現在のモードでこの機能を作動します。
調整した値を初期化するために、以下を行ってください。

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでリセットを選択します。
2. ▶ ボタンを押します。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

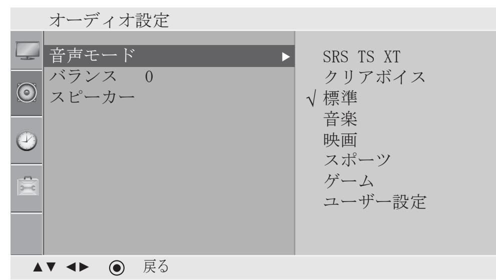
・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

音声操作

プリセット音声設定 – 音声モード

希望する音声設定を、SRS TS XT、クリアーボイス、標準、音楽、映画、スポーツ、ゲームの中から選択することができ、周波数やイコライザーを調整することもできます。
サウンドモードでは、最高のサウンドを簡単に楽しむことができます。
TRUSURROUND XT(SRS TS XT)、クリアボイス、標準、音楽、映画、スポーツ、ゲームには、最適な音質をあらかじめ工場出荷時に設定していますので、調整できません。
・ SOUND ボタンを繰り返し押して、適切な音声設定を選択してください。

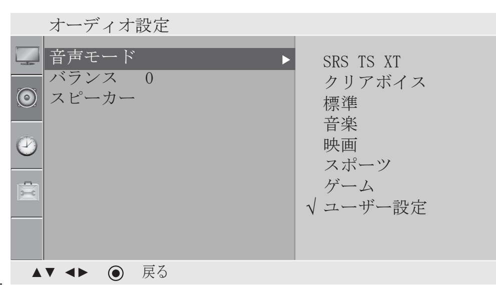
1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオーディオメニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して音声モードを選択します。
3. ▶ ボタンを押してから ▲/▼ ボタンを押して、SRS TS XT、クリアボイス、標準、音楽、映画、スポーツ、ゲーム、ユーザーのいずれかを選択します。

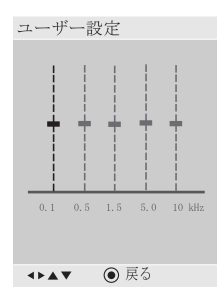


音声設定の調整 – ユーザーモード

オーディオイコライザーの調整

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してユーザーを選択します。
2. ▶ ボタンを押します。
3. ◀/▶ ボタンを押して周波数帯を選択します。
▲/▼ ボタンで希望する音声レベルを設定します。





・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

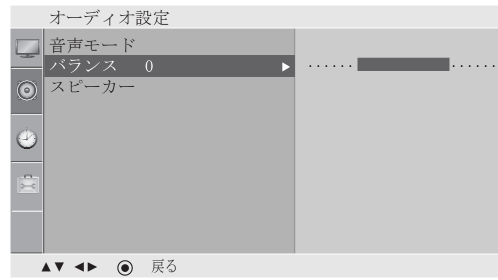
■ SRS TruSurround XT は、SRS LABS, INC. の商標です。
■ TRUSURROUND XT 技術は、SRS LABS, INC. からのライセンスに基づき製品化されています。

音声操作

バランス

スピーカーの音声バランスを希望するレベルに調整することができます。

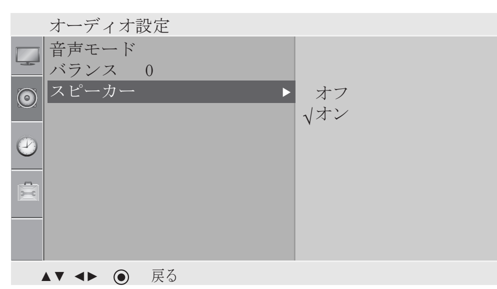
1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してバランスを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、◀/▶ ボタンを押して希望する調整を行います。



スピーカーのオン/オフ設定

内蔵スピーカーの設定を調整することができます。
AV、コンポーネント、HDMI モードでは、映像信号がない場合でも内蔵スピーカーオーディオが作動します。
外部の HI-FI オーディオシステムを使用する場合は、本機の内蔵スピーカーをオフにします。

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してスピーカーを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン / オフを選択します。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

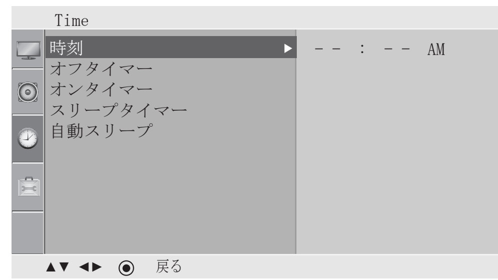
・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

時間設定

クロック設定

タイマーのオン/オフ機能を使用する前に時間を正確に設定してください。
現在の時間設定が停電やコンセントを引き抜くことによって消去された場合は、時間を再度設定してください。

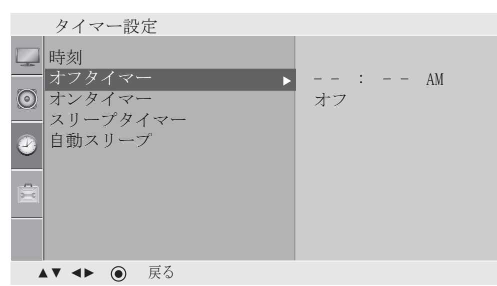
1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して時間メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してクロックを選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して時間を設定します。
4. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して分を設定します。

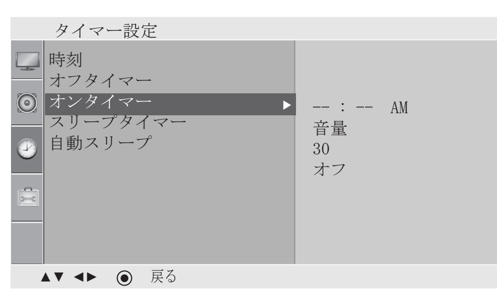


オートオン/オフタイマー設定

オフタイマー機能は、本機をセットした時刻に自動的にオフ（スタイバイ状態）にする機能です。
オンタイマー機能は、本機をセットした時刻に自動的にオンにする機能です。（オンタイマーで電源をオンにした後、2時間何もボタンが押されないと本機は自動的にオフになります）
一度オンタイマー / オフタイマー機能が設定されると、これらの機能はセットした時刻に毎日作動します。
オンタイマーとオフタイマーの両機能を同じ時間に設定した場合は、オフタイマー機能を優先します。

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン/オフタイマーを選択します。
   ・ オン/オフタイマー機能を解除するには、オフ を選択してください。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して時間を設定します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して分を設定します。
4. オンタイマー機能のみ
   ・ 音量 :▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してスイッチが入る時の音量レベルを調整します。





・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

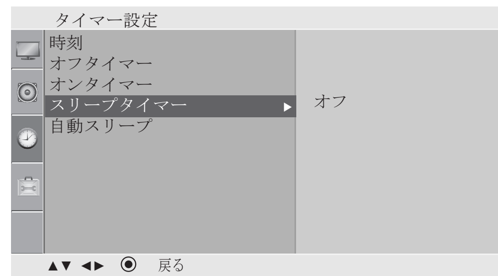
・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

時間設定

スリープタイマー（おやすみ予約タイマー）の設定

おやすみになる前に本機の電源を切り忘れても大丈夫です。
スリープタイマーで、セットした時間経過後に本機が自動的に切れます。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して時間メニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してスリープタイマーを選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して分を設定します。



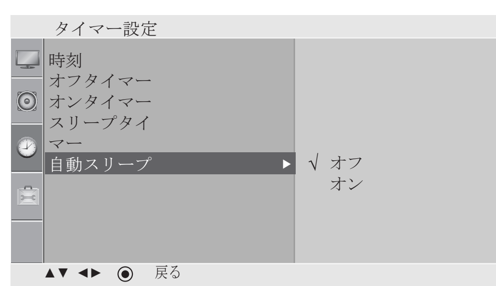
注記

■ 本機の電源を切ると、セットしたスリープタイマーは解除されます。

自動スリープ設定

本機の電源を入れても何の入力信号がない場合は、10 分後に電源が自動的に切れます。

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して自動スリープを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン / オフを選択します。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

オプション設定

オンスクリーンメニューの言語選択

初めて電源を入れると、画面にインストールガイドメニューが表示されます。

1 ◀/▶/▲/▼ ボタンを押してから、ENTER(決定)ボタンを押して希望する言語を選択します。

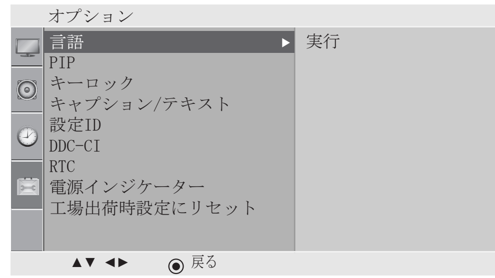
＊ 言語選択を変更する場合は、以下を行ってください。

1 MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでオプションメニューを選択します。

2 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンで言語を選択します。

3 ▶ ボタンを押してから、◀/▶/▲/▼ ボタンで希望する言語を選択します。選択した言語で画面にメニューが表示されます。

4 決定 ボタンを押します。



注記

- 決定 ボタンを押してインストールガイドメニューを終了しなかった場合や、 OSD (ON SCREEN DISPLAY : オンスクリーンディスプレイ) の表示時間が切れた場合、設定を完了するまで本機の電源を入れる度にメニューが表示され続けます。

キーロック

リモコンでしか操作ができないように、本体のキー操作を無効にすることができます。
この機能で、いたずらなどで本体を操作されるのを防止します。
本機には、本機の電源を切っても、どの項目を最後に設定していたかを記憶するようにプログラムされています。

1 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してキーロックを選択します。

2 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン / オフを選択します。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

注記

- キーロックを「オン」に設定している状態で、本機の電源が切れた場合は、⏻/I 本機の、INPUT、▲/▼ ボタン、またはリモコンの POWER、INPUT、▲/▼ ボタンのいずれかを押します。
- キーロックをオンの状態で、本機を使用中に本機の右側のボタンをどれでも押すと、画面に「キーロックオン」と表示されます。

オプション設定

キャプション/テキスト

テキストサービスは、あらゆる種類のテーマについての幅広い情報 （例 ： キャプションプログラムリスト、天気予報、証券取引に関する情報、聴力障害者向けのニュース等） を画面半分まで表示します。 しかし、すべての放送局がキャプションを提供しているとしても、テキストサービスを提供しているとは限りません。弱い信号を受信している場合は、テキストモードを選択していても、空白の黒いボックスが表示されて消えます。これは弱い信号を受信している場合によく起こることです。本機には、本機の電源を切っても、最後に設定していたキャプション/テキストモード記憶するようにプログラムされています。

1 MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでオプションメニューを選択します。

2 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してキャプション/テキストを選択します。

3 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオフ、またはモード 1 か モード 2、またはテキスト 1 か テキスト 2 を選択します。



DDC/CI(RGB、DVI モードのみ)

DDC/CI （ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス） は、PC と本機間の通信の通信プロトコルです。

DDC/CI 通信機能で、本機 OSD の代わりに PC で機能の詳細を調整・設定することができます。

DDC/CI をオンにして PC と本機間の通信を接続することで PC で本機を調整することができます。 そして DDC/CI をオフにしている時は PC と本機間の通信が接続されていないため、PC で本機を調整できません。

1 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して DDC-CI を選択します。

2 ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン / オフを選択します。



・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。

・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

オプション設定

RTC

「オン」で設定すると、応答時間制御機能が活性化し画面の残像が少なくなります
「オフ」で設定すると、応答時間制御機能が非活性化しパネル応答速度で動作します。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでオプションメニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して電源表示を選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン / オフを選択します。



電源表示

電源を入れている際に LED 表示ランプを点灯します。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでオプションメニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して電源表示を選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押してオン / オフを選択します。

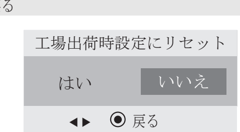


初期設定へのリセット

すべてのメニュー項目を工場出荷時のプリセット値に素早くリセットします。

1. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンを押して初期設定へのリセットを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、◀/▶ ボタンを押して「はい」または「いいえ」を選択します。





・ MENU(メニュー) ボタンを押してメニュー画面を終了します。
・ 戻る ボタンを押して前のメニュー画面に移動します。

補足説明

よくあるトラブルと解決方法

本機が正常に作動しない。	
リモコンが機能しない。	■ リモコンと本製品の間に障害物がないか確認してください。 リモコンを本機に直接向けて操作を行ってください。 ■ 乾電池の極性を正しい方向（+ を + に、- を - に）に入れてください。 ■ 正しいリモコン操作モードの設定を行ってください。 ■ 新しい乾電池を入れてください。
電源が突然切れる	■ スリープタイマーが設定されていませんか？ ■ 電源制御の設定を確認してください。

ビデオが機能しない。	
映像と音が出ない。	■ 電源が入っているか確認してください。 ■ 電源コードが壁コンセントに差し込まれていますか？ ■ 電源コードを差し込んでいたコンセントに別の機器の電源コードを差し込んでみて、壁コンセントをテストしてください。
電源を入れてからの画像の映りが遅い。	■ 正常です。機器の起動プロセス中に画像は映し出されません。 5 分たっても画像が表示されない場合は、サービスセンターにお問い合わせください。
色が出ない、色あいが悪い、画質が悪い	■ メニュー項目のカラーを調整してください。 ■ 本製品と接続機器間に十分な距離をおいてください。 ■ ビデオケーブルは正しく接続されていますか？ ■ 画像の明るさを回復させるための機能を実行させてください。
横方向 / 縦方向に帯が出る、または画像が揺れる。	■ 電気器具や電動工具などの周りの障害物を確認してください。

補足説明

オーディオが機能しない。	
映像は正常だが音が出ない。	■ VOL（◀ / ▶）ボタンを押してください ■ 音声がミュートになっていませんか？ MUTE ボタンを押してください。 ■ オーディオケーブルは正しく接続されていますか？
1 つのスピーカーから音が出ない。	■ メニュー項目のバランスを調整してください。
本機の内側から異常な音が出る。	■ 本機の電源をオン/オフして本機に何の問題もない場合は、周囲の湿度や気温の変化が異常な雑音の原因である可能性があります。

RGB/DVI モードにのみ適応します。

映像が出ない。	
電源は入っていて電源ランプは青色に点灯しているが、画面がとても暗い。	■ 明るさとコントラストをもう一度調整してみてください。
電源ランプが黄色になっていませんか。	■ 本機が節電モードになっている場合は、マウスを動かすか、いずれかのキーを押してください。
「範囲外」とメッセージが表示されませんか。	■ PC（ビデオカード）から、本機対応の水平、垂直解像度の範囲外の信号が入力されています。 本取扱説明書の仕様を参照して解像度の範囲を調整してください。
「信号ケーブルを確認」とメッセージが表示されませんか。	■ PC と本機が信号ケーブルで接続されていません。 信号ケーブルを確認してください。 ■ リモコンの「入力」ボタンを押して、入力信号を確認してください。

補足説明

オーディオが機能しない。	
ドライバをインストールしましたか。	■ 本機付属のドライバをインストールするか、ウェブサイトからダウンロードしてください。 (HTTP://WWW.LGE.COM) ■ プラグ & プレイ機能に対応するかどうか、ビデオカードのユーザーガイドを参照してください。

本機に残像が残る。	
本機の電源を切ると、残像が残る。	■ 静止画像を長時間映すと、画素を損傷させる恐れがあります。スクリーンセーバー機能を設定してください。

画面の色が正常に表示されない。	
画面の色解像度が低い（16 色）。	■ 画面の色解像度を 24 ビット以上（トゥルーカラー）に設定してください。WINDOWS の コントロールパネル – 画面 – 設定 – カラーパレットのメニューを選択してください。
画面の色が不安定、 またはモノラルになる。	■ 信号ケーブルの接続状態を確認してください。
画面の後ろに斑点が 出ますか。	■ 数色の画素（赤、緑、白、または黒色）が画面に表示される場合があり、これは LCD パネルの特徴と言えます。 LCD の故障ではありません。

RGB モードにのみ適応します

画面の映像が異常に見える。	
画面の位置は悪くありませんか。	■ OSD の位置メニューを調整してください。 ■ ビデオカードの解像度や周波数が本機で対応されているかどうか確認してください。 周波数が本機対応の範囲外の場合は、コントロールパネル – 画面 – 設定のメニューで推奨の解像度を設定してください。
画面の背景に細い線が出ますか？。	■ OSD のクロックメニューを調整してください。
水平方向のノイズが 現れる、または文字がぼやける。	■ OSD のフェーズメニューを調整してください。

補足説明

お手入れ

早期故障は防ぐことができます。　定期的なお手入れを注意して行うことで、お買い求めになった機器をより長くお楽しみいただけます。
注意：お手入れを始める前に、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

画面のお手入れ

1. 少量の柔軟材または食器用洗剤と混ぜたぬるま湯で濡らした柔らかい布を使うと、画面にしばらくの間ホコリがつきません。布をよく絞ってから画面を拭いてください。

2. 余分な水気を画面から拭き取り、自然乾燥させてから本機の電源を入れてください。

キャビネットのお手入れ

- 柔らかく、乾いた、糸くずの出ない布でキャビネットを拭いて、汚れやホコリを取り除いてください。
- 濡れた布を使わないようご注意ください。

長期不在

⚠ 注意

- 本機を長期間使用しない場合　（長期不在など）　は、落雷や電力サージによる破損を防ぐために、電源コードをコンセントから抜いておくことをお勧めします。

補足説明

製品仕様

LCD パネル	パネルタイプ	27 インチ型ワイド (686 MM) TFT (THIN FILM TRANSISTOR : 薄膜トランジスタ) LCD (LIQUID CRYSTAL DISPLAY : 液晶ディスプレー) パネル 表示対角寸法 :584.2 MM
	画素ピッチ	0.3114(H) X 0.3114(V) MM
ビデオ信号	最大表示解像度	1920 X 1080 @ 60 HZ
	推奨解像度	1920 X 1080 @ 60 HZ
	水平周波数	30 - 83 KHZ
	垂直周波数	56 - 75 HZ
	同期型	セパレート同期、デジタル
入力コネクタ		S-VIDEO、VIDEO (RCA) 、D-SUB アナログ、DVI-D、HDMI、PC AUDIO IN、コンポーネント
電力	定格電圧	AC 100 V~ 50/60 Hz 1.2 A
	消費電力	オン モード : 100W (標準値) お休みモード ≤ 1W (RGB) オフ モード ≤ 1W
チルト	チルト角度範囲	-5 ~ 15°
外形寸法 (横 X 縦 X 奥行) 質量		654.1 X 494 X 210 MM (25.75 X 19.47 X 8.27 インチ) 8.92 KG / 19.66 ポンド
環境条件	使用温度 使用湿度	10 ~ 35℃ 20 ~ 80%
	保存温度 保存湿度	-10 ~ 60℃ 5 ~ 90%

■ 製品改良のため、予告なく上記仕様を変更する場合があります。

補足説明

IR コード

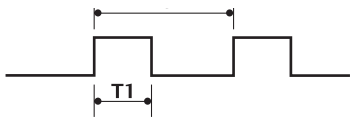
1. 接続方法

- お持ちの有線リモコンを本機のリモコンに接続してください。

2. リモコン IR コード

- 出力波形

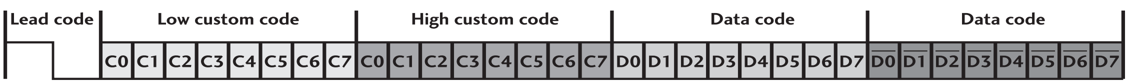
単一パルス、455 KHZ 時の変調周波数は 37.917 KHZ



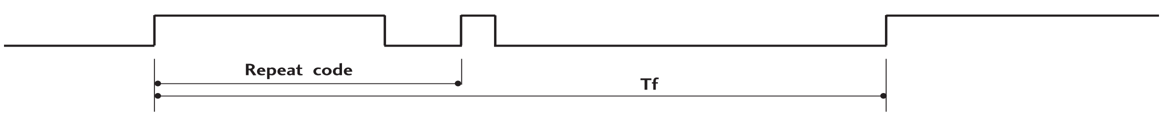
搬送周波数
FCAR = 1/TC = f0SC/12
通電率 = T1/TC = 1/3

- フレーム構成

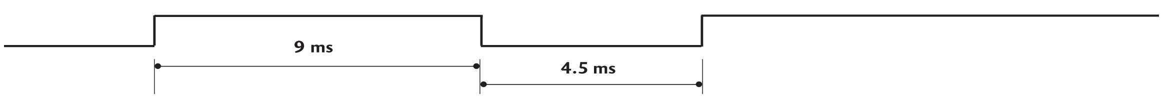
第 1 フレーム



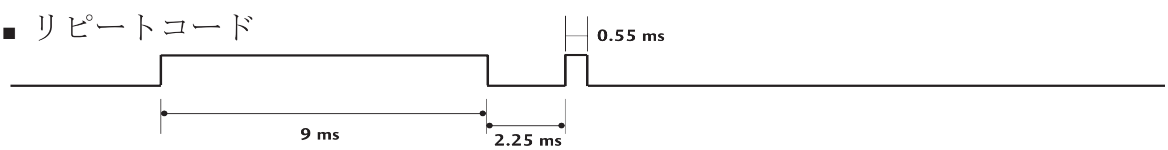
リピートフレーム



- リーダーコード

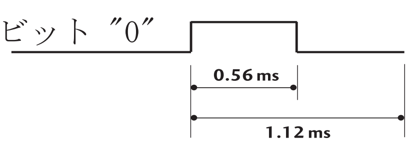


- リピートコード

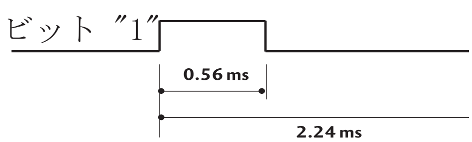


- ビット列

ビット "0"

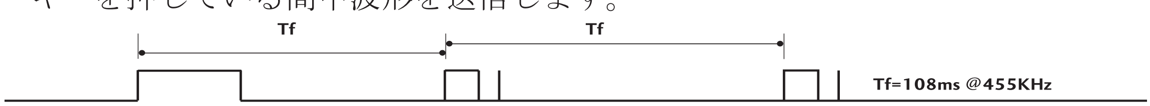


ビット "1"



- フレーム間隔TF

キーを押している間中波形を送信します。



補足説明

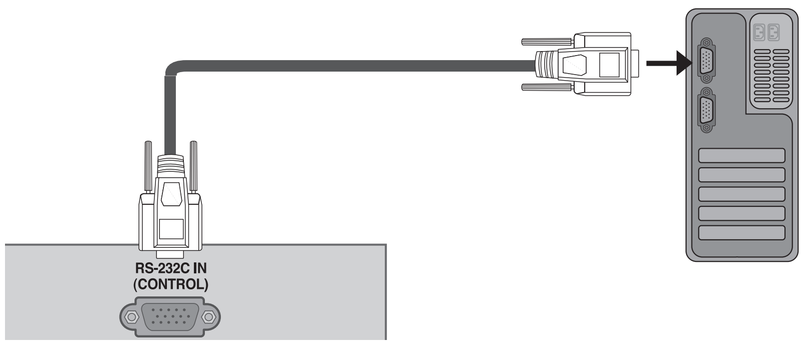
コード (HEXA)	機能	注	コード (HEXA)	機能	注
79	ARC	R/C ボタン	44	ENTER(◉)	R/C ボタン
0B	INPUT	R/C ボタン	0F	AV/PC	R/C ボタン
08	POWER	R/C ボタン(電源 オン/オフ)	60	PIP	R/C ボタン
43	メニュー	R/C ボタン	09	MUTE	R/C ボタン
28	戻る	R/C ボタン	0E	SLEEP	R/C ボタン
03	VOL ◀	R/C ボタン	4D	SPICTURE	R/C ボタン
02	VOL ▶	R/C ボタン	52	SOUND	R/C ボタン
00	▲	R/C ボタン			
01	▼	R/C ボタン			

補足説明

RS-232C による外部制御

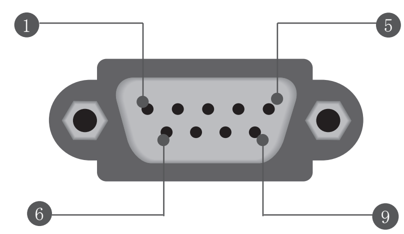
RS-232C 入力端子を外部制御機器（コンピューターや A/V 制御システム）に接続して、外部から本機の機能を制御します。
制御機器のシリアルポートを本機背面パネルの RS-232C 端子に接続します。 RS-232C 接続ケーブルは、本機パッケージに含まれていません。

RS-232C の設定



コネクタタイプ; D-SUB 9-PIN オス

番号	ピン名
1	接続なし
2	RXD（受信データ）
3	TXD（送信データ）
4	DTR（DTE 側準備完了）
5	GND
6	DSR（DCE 側準備完了）
7	RTS（送信要求）
8	CTS（送信可）
9	接続なし



RS-232C の構造

7 本ワイヤー構造（RS-232C 標準ケーブル）

	PC	機器	
RXD	2 ●	● 3	TXD
TXD	3 ●	● 2	RXD
GND	5 ●	● 5	GND
DTR	4 ●	● 6	DSR
DSR	6 ●	● 4	DTR
RTS	7 ●	● 8	CTS
CTS	8 ●	● 7	RTS
	D-Sub 9	D-Sub 9	

3 本ワイヤー構造（標準外）

	PC	機器	
RXD	2 ●	● 3	TXD
TXD	3 ●	● 2	RXD
GND	5 ●	● 5	GND
DTR	4	6	DTR
DSR	6	4	DSR
RTS	7	7	RTS
CTS	8	8	CTS
	D-Sub 9	D-Sub 9	

補足説明

セット ID

- この機能で、機器の ID 番号を指定します。
-「実データのマッピング 1」を参照してください。51 ページ参照。

1. MENU(メニュー) ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでオプションメニューを選択します。
2. ▶ ボタンを押してから、▲/▼ ボタンでセット ID を選択します。
3. ▶ ボタンを押してから、◀/▶ ボタンでセット ID を調整して希望する機器 ID 番号を選択します。
   ・ セット ID の調整範囲は 1~ 99 です。



通信パラメーター

- ボーレート : 9600 BPS (UART)
- データ長 : 8 BITS
- パリティ :なし
- ストップビット : 1 BIT
- 通信コード :ASCII コード
- クロス (リバース) ケーブルを使用

補足説明

コマンド一覧

	コマンド 1	コマンド 2	データ (16 進法)		コマンド 1	コマンド 2	データ (16 進法)
01. 電源	k	a	00 ~ 01	14. 色温度	k	u	50 ページ参照
02. アスペクト比	k	c	49 ページ参照	15. 赤色の調整	k	v	00 ~ 3C
03. 画面ミュート	k	d	00 ~ 01	16. 緑色の調整	k	w	00 ~ 3C
04. 音量ミュート	k	e	00 ~ 01	17. 青色の調整	k	$	00 ~ 3C
05. 音量操作	k	f	00 ~ 64	18. 異常ステータス	k	z	FF
06. コントラスト	k	g	00 ~ 64	19. 自動設定	j	u	01
07. 明るさ	k	h	00 ~ 64	20. イコライズ	j	v	51 ページ参照
08. カラー	k	i	00 ~ 64	21. キーコード	m	c	Key Code
09. 色合い	k	j	00 ~ 64	22. 入力の選択(コマンド)	x	b	51 ページ参照
10. シャープネス	k	k	00 ~ 64				
11. OSD の選択	k	l	00 ~ 01				
12. リモコンのロック /キーロック　モード	k	m	00 ~ 01				
13. バランス	k	t	00 ~ 64				

転送 / 受信プロトコル

転送

[Command1][Command2][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

[コマンド 1]　：本機を操作する最初のコマンド (I、K、M、または X)

[コマンド 2]　：　本機を操作する　2　番目のコマンド。

[セット ID]　：設定メニューで、セット ID を調整して希望する機器 ID 番号を選択します。 調整範囲は 1~ 99 です。 セット ID に「0」を選択すると、接続したすべての機器を操作します。 セット ID は、メニューでは 10 進法 (1~ 99) で表示され、転送 / 受信プロトコルでは 16 進法 (0X0~ 0X63) で表示されます。

[データ] :コマンドデータを転送

「FF」データをコマンドステータスを確認するために送信します。

[CR] : キャリッジリターン

ASCII コード 「0X0D」

[ ] : ASCII コード 「スペース (0X20)」

OK 確認

[Command2][ ][Set ID][ ][OK][Data][x]

正常なデータを受信すると、このフォーマットを基に機器が ACK (確認) を送信します。この時点で、データがデータの読み込みモードの場合は、現在のステータスのデータを示します。データがデータの書き込みモードの場合は、パソコンのデータに戻ります。

エラー確認

[Command2][ ][Set ID][ ][NG][Data][x]

実行不可能な機能からの異常なデータや通信エラーを受信すると、このフォーマットを基に機器が ACK (確認) を送信します。

[コマンド 2] :コマンドとして使用。

[セット ID] : 小文字を使用。　機器 ID が 10 の場合、機器は「0」、「A」を送信します。

[データ] : 小文字を使用。データが 0XAB の場合、機器は「A」、「B」を送信します。

[NG]:大文字を使用。

補足説明

01. 電源 (Command: k a)

機器の電源オン/オフを操作します。

転送 [k][a][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 00 :電源オフ　　データ 01 :電源オン

確認 [a][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

電源オン/オフ表示。

転送 [k][a][ ][Set ID][ ][FF][Cr]

確認 [a][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* 電源入力のシーケンス中にコマンドと ACK 間に遅れがある場合は、次のように記します。「注:このモデルでは、電源入力のプロセス完了後に機器が確認を送信します。
コマンドと確認間に遅れがある可能性があります。」

02. アスペクト比 (Command: k c) (主画像のサイズ)

画面フォーマットを調整します。(主画像のサイズ)
画像メニューのアスペクト比から画面フォーマットを調整できます。

転送 [k][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 01 :通常画面 (4:3)　　データ 05 :ズーム 2
データ 02 :ワイド画面 (16:9)　　データ 09 :ジャストスキャン
データ 04 :ズーム 1

確認 [c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* RGB-PC、コンポーネント、または HDMI 入力で、16:9 または 4:3 画面アスペクト比のどちらかを選択できます。
* ジャストスキャンは、次のモードで作動します :コンポーネント (720p/1080i/1080p)、HDMI (720p/1080i/1080p)

03. 画面ミュート (Command: k d)

画面ミュート　オン/オフを選択します。

転送 [k][d][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 00 :画面ミュートオフ (画像オン)
データ 01 :画面ミュートオン (画像オフ)

確認 [d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

04. 音量ミュート (Command: k e)

音量ミュート　オン/オフを操作します。
リモコンの MUTE ボタンでもミュートを調整できます。

転送 [k][e][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 00 :音量ミュートオン (音量オフ)
データ 01 :音量ミュートオフ (音量オン)

確認 [e][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

05. 音量操作 (Command: k f)

音量を調整します。
リモコンの 音量 ボタンでも音量を調整できます。

転送 [k][f][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小 :00 ~ 最大 : 64
「実データのマッピング　1」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [f][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

06. コントラスト (Command: k g)

画面コントラストを調整します。
画像メニューでもコントラストを調整することができます。

転送 [k][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小 :00 ~ 最大 : 64
「実データのマッピング　1」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [g][ ][Set ID][ ][OK][Data][x]

07. 明るさ (Command: k h)

画面の明るさを調整します。
画像メニューでも明るさを調整することができます。

転送 [k][h][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小 :00 ~ 最大 : 64
「実データのマッピング　1」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [h][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

08. カラー (Command: k i)

画面色を調整します。
画像メニューでも画面の色を調整することができます。

転送 [k][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小 :00 ~ 最大 : 64
「実データのマッピング　1」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

09. 色合い (Command: k j)

画面のティントを調整します。
画像メニューでもティントを調整することができます。

転送 [k][j][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小 :00 ~ 最大 : 64
「実データのマッピング　1」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [j][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

10. シャープネス (Command: k k)

画面のシャープネスを調整します。
画像メニューでもシャープネスを調整することができます。

転送 [k][k][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小 :00 ~ 最大 : 64
「実データのマッピング 1」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [k][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

11. OSD の選択 (Command: k l)

離れた場所から操作する場合の OSD (On Screen Display : オンスクリーンディスプレイ) オン/オフを選択します。

転送 [k][l][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 00: OSD オフ　データ 01: OSD オン

確認 [l][ ][Set ID][ ][OK][Data][x]

12. リモコンのロック / キーロック モード (Command: k m)

リモコンおよび機器のサイドキー操作をロックします。

転送 [k][m][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 00 :ロックオフ　データ 01 :ロックオン

確認 [m][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

13. バランス (Command: k t)

バランスを調整します。
オーディオメニューでもバランスを調整することができます。

転送 [k][t][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小 :00 ~ 最大 : 64
「実データのマッピング 1」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [t][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

14. 色温度 (Command: k u)

色温度を調整します。
画像メニューでも色温度を調整することができます。

転送 [k][u][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 00:中間色 01:寒色 02:暖色 (RGB、DVI モードで選択しないでください)
データ 05:9300K 06:6500K 07:sRGB (RGB、DVI モードで選択してください)

確認 [u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

15. 赤色の調整 (Command: k v)

色温度で赤色を調整します。

転送 [k][v][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ最小 : 00~ 最大 : 3C
「実データのマッピング2」を参照してください。51ページ参照

確認 [v][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

16. 緑色の調整 (Command: k w)

色温度で緑色を調整します。

転送 [k][w][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小: 00 ~ 最大: 3C
「実データのマッピング 2」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [w][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

17. 青色の調整 (Command: k $)

色温度で緑色を調整します。

転送 [k][$][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 最小: 00 ~ 最大: 3C
「実データのマッピング 2」を参照してください。51 ページ参照。

確認 [$][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

18. 異常ステータス (Command: k z)

異常ステータスを認識します。

転送 [k][z][ ][Set ID][ ][FF][ ][Cr]

データ FF :読み込み

確認 [z][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

データ 00 :正常 (電源オンおよび信号あり)
データ 01 :信号なし (電源オン)
データ 02 :リモコンで電源を切る
データ 03 :お休み予約タイマー機能で電源を切る
データ 04 :RS-232C 機能で電源を切る
* この機能は「読み取り専用」です。

19 . 自動設定 (Command: j u)

画像の位置を調整し、映像の揺れを自動的に最小限に抑えます。RGB (PC) モードでのみ作動します。

転送 [j][u][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ 01 :設定する

確認 [u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

20. イコライズ(Command: j v)

▶ イコライズの調整をします。

転送 [j][v][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

MSB							LSB
0	0	0	0	0	0	0	0
周波数				データ			

周波数						データ				
7	6	5	4	Hex	備考	3	2	1	0	ステップ
0	0	0	0	0	第 1 周波数帯	0	0	0	0	0
0	0	1	0	2	第 2 周波数帯	0	0	0	1	1
0	1	0	0	4	第 3 周波数帯	0	0	1	0	2
0	1	1	0	6	第 4 周波数帯	...	...	...	...	...
1	0	0	0	8	第 5 周波数帯	1	1	1	1	F

確認 [v][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

21. キーコード (Command: m c)

IR リモートキーコードを送信します。

転送 [m][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ :キーコード - 45 ページ参照。

確認 [c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

22. 入力の選択 (Command: x b)
(主画像の入力)

機器の入力ソースを選択します。

転送 [x][b][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

データ :構成

MSB							LSB
0	0	0	0	0	0	0	0
外部入力				入力番号			

Input	command
AV	[x][b][ ][Set ID][ ][20][Cr]
Component	[x][b][ ][Set ID][ ][40][Cr]
RGB	[x][b][ ][Set ID][ ][60][Cr]
DVI	[x][b][ ][Set ID][ ][80][Cr]
HDMI1	[x][b][ ][Set ID][ ][90][Cr]
HDMI2	[x][b][ ][Set ID][ ][91][Cr]

確認 [b][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* 実データのマッピング 1

00: ステップ 0
⋮
32: ステップ 50
⋮
64: ステップ 100

* 実データのマッピング 2

00 : -30
⋮
1E : 0
⋮
3C : +30

LG Electronics Inc.